

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

在職職員(正・パ) 6名/8名在籍(運転手を除く)

チェック項目	はい ○	わからない (無回答)	いいえ ×	職員間の意見【A】	【A】についての対策・方法
環境・体制整備					
子どもの活動等のスペースが充分確保されているか	100%				
職員の配置数は適切であるか	100%				
設備等について、バリアフリー化の配慮等が適切になされているか	100%				
業務改善					
Plan(計画)→Do(実行)→Check(評価)→Action(改善)サイクルに則り、計画や相談に加わっているか	100%			<input type="checkbox"/> 「評価の部分を高めていけると、今後更によくなっていくと思う。」	看護=現在の記録用紙を活用しつつ、記録方法を改善します。 (継続=赤字で記入)
保護者の意向等を把握し、評価をし、業務改善につなげているか	100%			<input type="checkbox"/> 「評価→フィードバック→保護者報告は、実施しているが、しっかりとした記録として残されている??」	療育=毎月行っているの情報共有の他に、個別支援計画の更新前に集まり、フィードバックし次の計画に結び付けていきます。
第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	60%	40%		<input type="checkbox"/> 第三者委員会は北海道では3か所しかなく不可能です	これまで一般の方から、評価を頂く事がありました。が、重症児や医ケア児の事業所としての改善に結び付くご意見は頂けずに来ま

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

				<p>が、他にどのような形で評価が理想でしょうか？</p> <p><input type="checkbox"/> 同じような施設での比較はできないのでしょうか。</p>	<p>した。現状を理解している方からの評価でなければ、難しいと考えてきました。</p> <p>(例:「医療機器を置くのは危ない。」「壁のコンセントは塞いだ法が良い。」)</p> <p>これにつきまして、今回話し合った結果、重症児・医療的ケア児を理解している医療職の方から、現状の評価を頂く事を考えました。そこで、今年度から第三者ではありませんが協力医による評価を頂く事にします。</p>
<p>職員の資質の向上にむけた研修を行っているか</p>	<p>100%</p>			<p><input type="checkbox"/> カフアシスト研修</p> <p><input type="checkbox"/> 摂食嚥下（個別）</p> <p><input type="checkbox"/> 療育に関する研修・基本的な子どもの関わり（全てのこども）</p> <p><input type="checkbox"/> 各分野のプロとしての関わり方を知りたい。</p> <p><input type="checkbox"/> 稲生会や、旭川養護学校の療育環境を見学したい。</p>	<p>=必要に応じて。（デイで使用するお子様がいた時に）</p> <p>=今年度中に療育園 ST に依頼</p> <p>=事業所内研修を開催計画します。（保育士）</p> <p>=事業所内研修を開催計画します。（年度末に研修係が企画）</p> <p>=コロナが落ち着いてから見学企画をたてます。</p>

適切な支援の提供					
面接や聞き取りを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	100%				
個別支援計画には「発達支援」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から必要な項目が適切に選択され、具体的な支援内容が設定されているか	100%				面談や家庭訪問を継続しながら、お子様にとって必要な事。ご家族のサポートを聞き取り、計画に載せていきます。
個別支援計画に沿った支援が行われているか	100%				
活動プログラムの立案が固定化されないように、職員共同等で行えているか	100%			<input type="checkbox"/> 多職種でアイデアをまとめていけると、更に良くなりそうです。	「こんな事をしたい。」を職種問わずアイデアや意見を出し合い、療育プログラムとして形にしていきます。
活動プログラムが固定化しないように工夫をしているか	100%				
平日・休日・長期休暇に応じて課題をきめ、細やかに設定して支援しているか	100%				
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ個別支援計画を作成しているか	100%				
支援開始前には職員間で打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担を確認しているか	100%				

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

支援の振り返りを行い、気づいた点を共有しているか	85%	15%		<input type="checkbox"/> 「自身の中での振り返りから、全体への共有（アウトプット）につながる関わりが課題。」	=内に秘めないで、言葉に出して伝えよう。ミーティングでは多くを共有しているので、より深く伝えあえるように、ディスカッションを深めていきます。
日々の支援に正しく記録をとり、支援の検証や改善につなげているか	100%			<input type="checkbox"/> 「看護師による支援記録がすくない。」	=6月以降、看護職も療育記録を多く記録しているのが見られています。今後も療育に携わった者が(どの職種でも)、お子様の様子を記録していきます。
定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	100%				
児童デイサービスガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	100%				
保護者や関係機関との連携					
担当者会議には、その子どもの状況に精通した最もふさわしい職員が参画しているか	100%				
関係機関と連携した支援を行っているか	100%			<input type="checkbox"/> 「訪看、他デイ等とも柔軟に更に連携をとりたい。」	=必要に応じて“連携したい事”をそれぞれから声を出し合いましょう。
学校との情報共有、連絡調整（送迎時の対応等）を適切に行っているか	100%				

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

在宅支援のために地域の関係機関と連絡体制を整えて支援しているか	100%			<input type="checkbox"/> 「紙面、SNS 等を活用し連絡がとれる体制におりますが、災害時等につきましては、状況に応じて対応できる準備を今後も整えていく事も必要。」	=今後も継続していきましょう。
医療的ケアの部分において。子どもの主治医や協力医療機関等と連携体制を整えているか	100%				
移行支援として、保育所や小学校との間で支援内容の情報共有を行っているか	100%				
専門機関（児童発達支援センター、旭児連等）と連携し、助言や研修を積極的に受けているか	70%	30%		<input type="checkbox"/> 病院、学校、訪看との連携が密ですが、児童発達支援センターや、旭児連との連携はどのようなのでしょうか？	=今後も研修案内が届きましたら、周知していきます。コロナ禍は研修そのものが少ない傾向にあります。また、専門機関とはいえ、方向性が少し異なる所もあるので、必要に応じて連携をとっていきます。
障がいのない子どもたちと交流や活動する機会があるか	15%	50%	35%	<input type="checkbox"/> コロナ禍でできていません。	=コロナの感染拡大状態をみて、交流の機会を希望している方の、今後の交流方法について検討していきます。
日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、発達の状況や課題について共通理解をもっているか	100%				

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

<p>保護者の対応力の向上を図る観点から、家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の支援を行っているか 医療的ケア、療育、関わり方、リハビリ等</p>	<p>35%</p>	<p>65%</p>		<p><input type="checkbox"/> 家族支援プログラムまでは至っておらず、事業所だけではなく、関係機関とのコミュニケーションも更に必要になると思います。</p>	<p>=具体的に困っている所までは、なかなか聞き込めていない所もある所もありました。誰が(父・母)、何に、どれ位？という所では、児発管の面談時に「自分のための時間を使っていますか？」等といった声掛けを今後も行っていきたいと考えています。</p>
<p>保護者への説明責任等</p>					
<p>運営規定、利用者負担額等について丁寧な説明をしているか</p>	<p>100%</p>				
<p>児童発達支援ガイドラインの提供すべき支援のねらいにに基づき、個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか</p>	<p>100%</p>				
<p>保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p>	<p>100%</p>				
<p>父母会の活動の支援をしたり、保護者の集うイベントを開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p>	<p>15%</p>	<p>50%</p>	<p>35%</p>	<p><input type="checkbox"/> コロナの影響もあり、積極的には行えない。 <input type="checkbox"/> 今後もコロナの状況によってと思い</p>	<p>=オンラインや、パネル展等も検討しながら、ニーズにあわせて行いたいと思います。</p>

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

				ますが、イベント中止や延期のお知らせを落とさないように気を付けていきます。	
子どもや保護者からの相談や申し入れに対して迅速に対応しているか	100%				
定期的に通信等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか	100%				
個人情報の取り扱いに十分注意しているか	100%				
子どもの意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	100%				
事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を行っているか	50%	30%	15%	<input type="checkbox"/> コロナの影響もあり、積極的には行えていません。	=もともと、二区九条町内会の皆様やボランティアさんが、絵本の読み聞かせ等を行って下さっておりました。 感染状況が落ち着いてから、地域と一緒に支えあう事業所になりたいと考えております。
非常時の対応					
緊急時マニュアル、感染症マニュアル等を策定し、発生を想定した訓練を実施しているか	100%				

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

定期的に避難訓練や救出訓練を行っているか	100%				
子どもの体調把握や状況を事前に確認しているか	100%				
食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	100%				
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	85%	15%		<input type="checkbox"/> 何かしら話し合う時間は定期的にあるが、ヒヤリハットを振り返り、しっかり話し合う程の時間はできていない。	=虐待防止委員会で時間をつくり、今後、振り返りの機会をつくっていきます。
虐待を防止するため、適切な対応をしているか	100%			<input type="checkbox"/> 全職員で、お互いに状態を話し合っている。	(強度行動障害の専門講習は齊藤受講済み)
どのような場合に身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、十分な研修と説明を行った上で、個別支援計画に記載しているか	35%	50%	15%	<input type="checkbox"/> 虐待防止委員会での毎月のスローガンで各自の行動を見直す事ができていると思う。	=今回の話し合いのように「今の私達の支援方法が大丈夫なのか？疑問点がないか等、「これはどうかな？」と話し合う時間そのものが大切だと思うので、今後も、しっかりと意見を伝えたいと考えます。

【重度障がい児支援 花色】 事業者むけ自己評価表

株式会社 湧心

(令和3年4月～令和4年3月迄)

利用児様、保護者様、皆様、アンケートにご協力いただき有難うございました。

お蔭様で、この4月から花色は支援者数も増えました。

医療的ケア等の支援の充実化。そして、何かしらの話し合いの時間も余裕が出来ました。

利用児様保護者様とのコミュニケーションはもちろんの事。

職場内での振り返りやディスカッションをより深めていきたいと思いました。

また、子ども達の成長に携わる私達が、しっかりと行く先を向いて歩みたいと考えております。

2022年の花色の目標は

「来てくれる1日に全力をつくそう！ 生きる力を信じよう！ 楽しい経験ができる1日にしよう。」です。

その中でも

保 育 職＝季節を感じながら色々なことに挑戦してみよう！

リハビリ職＝日々の変化を見落とさず、大らかに遊ビリテーションを行おう。

看 護 職＝感染予防に配慮し、安全な医療的ケアの実施をしよう！ です。

利用児様保護者様の、「困ったこと、疑問点、相談、まずは花色にお気軽にご相談ください。」全職員で相談してご返事致します。

いつも有難うございます。どうぞ、今年度も宜しくお願い致します。